



▲ムギイカのシーズンは短い。早めに釣行を

麦秋とは麦の穂が実り刈り入れ時を迎えるころ。秋と付くものの初夏の季節であり、まさに今がその季節。そしてこの時期に釣れ盛るのが小型のスルメイカ、ムギイカだ。

で、そのムギイカ、昔は相模湾中色いろな場所所釣れた。長井沖や小田原沖、真鶴沖をメインに葉山沖や江ノ島周辺でも釣れたし、東京湾でも金谷沖に剣崎沖、鴨居沖などでもよく釣れたものだ。

しかし最近ほとんど姿を見なくなり、狙えるのは城ヶ島周辺と小田原・真鶴沖回りだけと寂しい限りだ。

田原で乗り出したと聞き、早川港の坂口丸へ釣行した。

ハイブリッド釣法で乗せた

このところ不安定な天気が続いた後の平日ということもあってか当日の乗船者は6名。ジャンボ船ゆえ申し訳ないほどの広い釣り座間隔で、定刻の6時ちょうどに大船長に見送られて出船となった。

20分ほどで釣り場の岩沖へと到着するも船はなかなか止まらない。結局15分近く探したが反応がないのか、来た方向に戻り根府川沖で、「いいですよ。水深50メートル。底のほうだね」と開始の合図が出た。

ここでは1投目から乗ったように左トモの方がリールを巻き始める。これはムギイカとマルイカの一荷で、ともに

昭和の時代と様変わり!? 令和のムギイカも面白い

相模湾小田原早川港発 ↓ 小田原・真鶴沖 フィッシングライター 相川晃 Akira Kasukawa

まずまずの良型、うまさそうなサイズだ。

この後、しばらくして右舷胴の間でもムギイカが上がったが、後が続かず移動となる。再度真鶴方面へ反応を探しながら走るも岩沖、真鶴沖と通過。真鶴半島の名礁、三ツ石沖の60メートルルダチで船が止まった。

ここではマルイカがポツンポツンと釣れるがいかなせん単発が多い。ひと流して一人か二人巻いてもその後は沈黙の展開が続く。

船長は三ツ石をかわし福浦沖へ船を回したが、ここでも単発乗りがあるだけ。どうやら反応はあちらこちらあるようなのだが、どうにもイカにスイッチが入らないようだ。それでも9時半過ぎには全員が型を見て、ここから私も竿を出してみる。これまで皆さんの釣りを拝見していたと

ころ、竿は全員がマルイカ用でしかもゼロテンを意識したペナペナ穂先の竿。

仕掛けは直結、直ブラ、ブランコとそれぞれだが、これまた全員が仕掛け下部にマルイカ用のスッテを配置して、釣り方もタタキ誘いからゼロテンでアタリを取りにくいといったマルイカ釣りそのものだった。

一方の私は先調子のライトゲームロッドに8センチのブラツノ7本の直結と、ムギイカに特化した仕掛けだ。釣り方は着底後1メートルほど底を切り、タタキ誘いの後はビタツと止めてアタリを

知得! Tips and Tricks 簡単お手軽な沖漬け風 私流の自宅で簡単「なんちゃって沖漬け風」をご紹介します。ムギイカの目、口、墨袋および内臓を取り、皮付きのまま適当に刺身状に切る(肝はブツ切り)。これを漬けダレ(麵つゆ可)と混ぜ合わせ冷蔵庫で30分ほど寝かせればでき上がり。漬けダレを前日に作る手間も、持参時に液漏れの心配もない。さばいてから漬け込むので胃袋も取り除ける(胃袋にはイワシの残骸が残っていることもある)から、かつ込むように食べられます。



▲最近のムギイカ釣りはマルイカのように

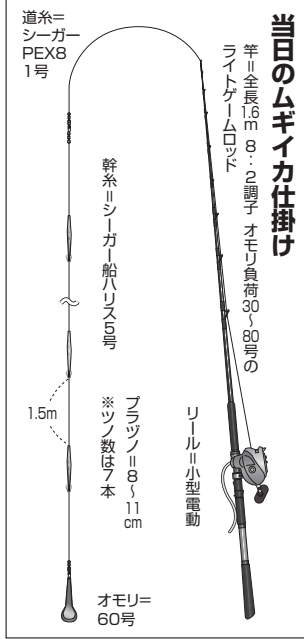
見る、といった一応マルイカを意識した釣り方。しかし全くアタリが出ない。

何を隠そうこの私、マルイカ釣りが苦手。最近のマルイカ釣りに付いていけてないロートルなのだ。

そこでタタキ、ビタ止めを何回か繰り返した後は、スロロな電動シャクリで10メートル上くらいまで誘う、マルイカ釣りとムギイカ釣りのハイブリッド的な釣り方へと移行する。

釣りの活性が上がる

事態が好転したのは11時近く。これまでは反応が小さいのか、船を止めるのにもデッドスローからスラストで横位置を細かく修正して「ハイどうぞ」が多かったのだが、このときはガガッ! と急



当日のムギイカ仕掛け

竿 全長16m 8・2調子 オモリ負荷30〜80号のライトゲームロッド

リール 小型電動

ブラツノ 8〜11cm

※ツノ数は7本

オモリ=60号

▼ムギイカ釣りの後はスルメイカ狙いへとシフトしていく



高梨さんに話を伺うと「釣り方は朝から同じ。タタキ誘いからビタ止めでアタリを取っています。今日は活性が低いからアタリも小さいですよ。ね。トップガイドがちよっと横ブレするくらい。でもこのアタリが取れるとけっこう掛ければますよ」とのことだ。席に戻り実践してみるが私の竿でもそんなアタリは出ない。それでも横ブレとは違う極小

のあたりを取って連発(相当間を置いてではあるが)で掛けられたときはうれしかった。この後もミヨシお二人の独壇場は続いた。多点掛けこそないものの船が止まるたびにダブルを含め確実に数をのばしている。



▲色いろ教えてくれた高梨さん、ありがとうございました

仕掛けを落とせばズラズラッと乗った昭和のムギイカ釣りが懐かしいが、小さなアタリを取って掛けにくい令和のムギイカもテクニカルで面白い。照準を合わせ直し早々に仕切り直しといきたいものである。

船宿 information 相模湾小田原早川港 坂口丸 0465-22-8266 (詳細は巻末の情報欄参照) 料金=ムギイカ乗合一人1万円(氷付き) 備考=予約乗合、6時出船。別船はオニカサゴ、ウイリー五目などへ